

循環器内科に通院中または過去に通院されていた
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 慢性心不全患者の運動耐容能および予後に関連する因子の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 絹川 真太郎（循環器内科・講師）

[研究の目的] 心肺運動負荷試験（CPX）によって測定される体力と予後との関連を、病態、治療内容、合併症などに基づいて明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

循環器内科に通院、入院したことのある患者さんで、2009 年 1 月 1 日以降、CPX の検査を受けている方

○利用するカルテ情報

- ① 背景情報：年齢、性別、基礎心疾患、診断名、現病歴、既往歴
- ② 身長、体重、血圧、心拍数、酸素飽和度（SpO₂）、体温
- ③ NYHA心機能分類
- ④ CPXデータ：心拍数、血圧、Load、呼気ガス指標（酸素摂取量、二酸化炭素排出量、分時換気量、最大酸素摂取量、嫌気性代謝閾値、酸素脈、VE/VCO₂、VD/VT、ETCO₂、MVV、Breathing reserve、EOV）
- ⑤ 血液検査：血算（WBC、Hb）、生化学（TP、Alb、T-bil、AST、ALT、LDH、 γ GTP、ChE、Na、K、BUN、Cr、eGFR、UA、BNP、fT3、fT4、TSH、LDL-C、HDL-C、BS、HbA1c）
- ⑥ 心エコー：左室駆出率（LVEF）、左室拡張末期径（LVDd）、左室収縮末期径（LVDs）、心室中隔壁厚（LVPWT）、左室心筋重量（LVM）、左室重量係数（LVMI）、左室内径短絡率（%FS）、左房径（LAD）、下大静脈径（IVC）、弁の逆流と狭窄（AR/AS、MR/MS、TR）、左室拡張能（E/A、DcT、E/e'）、肺動脈圧収縮期圧（PASP）、肺動脈圧拡張期圧（PADP）
- ⑦ 呼吸機能検査：肺活量（%VC）、1秒率（FEV1/FVC）、1秒量（FEV1）

2017年7月13日

- ⑧ 右心カテーテル検査：心拍出量（CO）、心係数（CI）、体血管抵抗（SVR）、肺血管抵抗（PVR）、肺動脈楔入圧（PCWP）、肺動脈収縮期圧（PASP）、肺動脈拡張期圧（PADP）、平均肺動脈圧（mean PA）、右房圧（RA）
- ⑨ 治療内容：内服薬
- ⑩ CPX実施日から3年間のイベント（心不全増悪、虚血性心疾患、不整脈、脳血管障害による死亡あるいは再入院、全死亡）の発生率

[研究実施期間] 実施許可日～2020年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院循環器内科 担当医師 絹川 真太郎

循環器内科 医局 011-706-6973

同 病棟 011-406-5855

同 外来 011-706-5675